

【江戸・幕末期までの歩み】

厳しい運命に立ち向かった先人たち
戊辰から百五十年の歩み

戊辰の歴史とともに
新しい時代を切り開く
幕末の動乱の中でも会津藩は「義」を貫き、
戊辰戦争後も長らく苦難の道をたどる事
となったが、先人たちは新しい未来を想像
するためためめ努力と情熱を注いだ。

1590 天正18

蒲生氏郷、会津に入封し黒川の地を「若松」と定める。



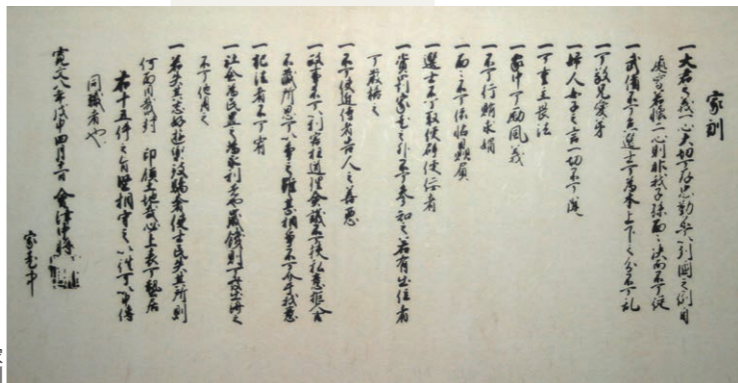
保科正之

1643 寛永20

保科正之が最上(山形)から
転封。会津四郡二十三万石
を領し、南山五万五千石余の
幕府領を預かる。

1668 寛文8

保科正之が「家訓十五箇
条」を定める。



家訓

1852 嘉永5

松平容保、
会津藩第九代
藩主に就任。



松平容保

1853 嘉永6

アメリカのペリー艦隊、浦賀に來航する。

1862 文久2

閏八月、松平容保が京都守護職
に任じられる。

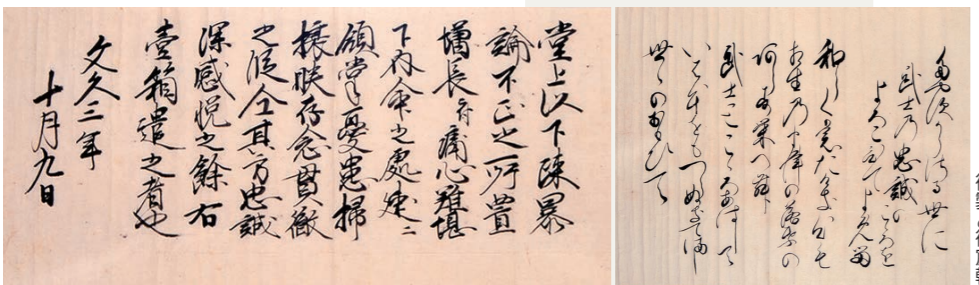
十二月、約千人の藩士を率いて京
都に入る。

1863 文久3

一月、松平容保初めて参内し、孝
明天皇に拝謁。会津藩は唐門、蛤
門を守る。

八月十八日、会津藩と薩摩藩が
朝廷から尊攘派を二掃する(会薩
同盟、八二八の政変)

十月九日、孝明天皇より松平容
保に辰翰と御製を下賜される。



御製と御辰翰

1864 元治元

七月十九日、御所の蛤門
を中心にした戦いにより
会津藩は長州藩を敗走
させる(禁門の変)。長州
征討の詔。

1866 慶応2

十二月五日、徳川慶喜が
第十五代将軍に就任
同二十五日、孝明天皇が
崩御。

1867 慶応3

十月十四日、大政奉還
十二月九日、王政復古の
大号令。



禁門の変図屏風

1868 慶応4 明治元

一月三日、鳥羽・伏見の戦い。幕府側が敗れ、戊辰戦争
へと発展する。

一月十七日、仙台藩に会津征討の朝命下る。

二月、松平容保が家督を喜徳に譲り、恭順の意を表
す。会津に帰国して謹慎する

三月、会津藩が新たな軍制改革を敷く

四月十一日、江戸開城

閏四月十一日、奥羽諸藩が白石城で会議を開き、会
津藩への寛大な処分を求める嘆願書を提出するも
却下される。

閏四月〜五月、白河口をめくり新政府軍と会津藩、
奥羽諸藩が激しい攻防戦

五月三日、奥羽列藩同盟を締結(後に奥羽越列藩同
盟に発展する)

八月二十一日、新政府軍が母成峠を破り会津城下へ二
気に攻め込む。会津藩、同二十三日から鶴ヶ城にたて
籠り一カ月におよぶ籠城戦

九月二十二日、会津藩が降伏開城。会津藩の戦死者
は約三千人。松平容保父子は妙国寺に入り謹慎。藩
士も猪苗代、塩川に謹慎を命じられる。

【明治期の歩み】

1868
慶応4
明治元

九月八日、明治と改元。
十月一日、若松に民政局設置。

十二月七日、松平容保は死一等を減じられ、鳥取藩池田家に永預けとなる。会津領二十八万石は没収される。

1869
明治2

一月六日、猪苗代と塩川に謹慎の旧藩士が東京、越後高田（上越市）へ送られる。

二月～三月、戊辰戦争戦死者の改葬始まる。阿弥陀寺に二八二体、長命寺一四五体。七月～八月に両寺で施餓鬼供養。

五月四日、民政局を廃し若松県が設置される

五月十八日、旧幕府軍の五稜郭が開城、戊辰戦争終わる

五月、会津戦争の責任を負い、旧家老萱野権兵衛長修が飯野藩保科邸で切腹する。

七月、新政府軍の戦死者招魂祭（融通寺）。

十一月、松平容大に家名再興が許され、斗南藩三万石に移封となる。

1870
明治3

一月、謹慎中の会津藩士、許されて自由の身となる

四月～十月、旧会津藩士約二万七千三百人が斗南藩へ移住を始める。

1871
明治4

七月十四日、廃藩置県の布告。県内は後に若松県、二本松県、平泉の三県が置かれる

旧会津藩士が移住した斗南藩も消滅し、弘前県や青森県に編入する

1874
明治7

七月、鶴ヶ城天守閣その他の建物が取り壊される。



明治初期破却前の鶴ヶ城天守閣



斗南藩に向かう会津藩士一行の図

1876
明治9

八月二十一日、若松県、磐前県、福島県が統合し「福島県」となる。

1882
明治15

県令三島通庸、会津三方道路の開削に着手する。

1884
明治17

十月十三日、飯盛山で白虎隊士十七回忌辰祭。佐原盛純の「白虎隊剣舞」奉納される。

1888
明治21

七月十五日、磐梯山大噴火

1889
明治22

四月、町村制の施行により福島県北会津郡若松町となる。若松大町堅町など八十三町と日吉村、年貢村の各一部を編入。町を運営するため町長と町会議員の選挙が行われる。初代町長に倉田作十郎

1890
明治23

飯盛山の白虎隊墓域を拡張、十九士銘々の墓が建立される

十二月三日、旧藩主松平容保が死没



白虎隊十九士の墓

1894
明治27

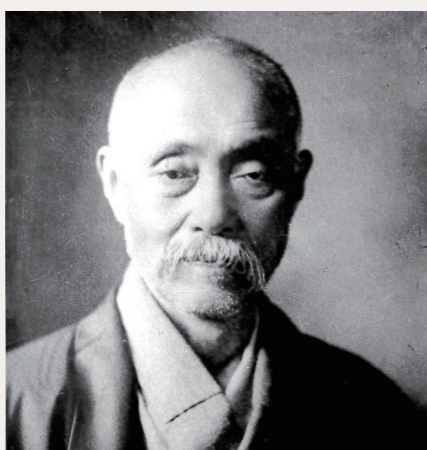
日清戦争

1899
明治32

四月一日、若松市制を施行、県内で最初の市となる。

初代市長に秋山清八

七月十五日、岩越鉄道の山潟（郡山）―若松間が開通する。



市制施行後、初の市長に秋山清八

1900
明治33

九月十六日、戊辰殉難三十三回忌法要。

1902
明治35

九月二十八日、会津に大暴風雨と大洪水。死者二〇二人、全壊七五八戸を数える。

1904
明治37

岩越鉄道、若松―喜多方間が開通
市立会津図書館が開館
（日本で最初の市立図書館となる）
日露戦争始まる。

【大正・昭和期の歩み】

1914 大正3

第一次世界大戦始まる

十二月一日、岩越線の郡山―新津間が全通。

1916 大正5

十二月二十五日、市が会津松平家から鶴ヶ城跡を譲り受ける

1917 大正6

三月二十九日、戊辰戦争殉難者を弔う財団法人会津弔霊義会が内務大臣より認可される。

六月九日、旧藩主の故松平容保と容大、院内の松平家御廟へ改葬される

八月二十三日、戊辰五十年祭が旧城本丸で開催される。

1918 大正7

八月十五日、若松でも米騒動起きる。

1921 大正10

十月九日、市の物産陳列館および若松公会堂が完成

1923 大正12

五月二十三日、市制施行二十五周年を祝う

1925 大正14

十二月二十二日、飯盛山白虎隊墓域拡張事業に着手する(翌年五月二十八日に落成式)

1926 大正15

十月十五日、会津線若松―坂下間が開通。

1927 昭和2

四月二十六日、市章を制定する。会津藩の旗印、「會」の文字をデザイン化した

十一月一日、会津線の西若松―上三寄間開通。



会津若松市の市章

1928 昭和3

九月二十八日、秩父宮雍仁殿下と松平勢津子さま御成婚。三日間、会津あげて「提灯行列」などで祝う

十二月一日、飯盛山にイタリヤからローマ記念碑が寄贈され除幕式を行う。



松平恒雄氏と勢津子様

1929 昭和4

四月一日、市の上水道給水始まる。

1932 昭和7

十月十九日、会津松平氏庭園(御葉園)が国の名勝に指定。

1934 昭和9

十二月二十七日、会津線若松―田島間が全通

十二月二十八日、若松城跡(鶴ヶ城跡)が国の史跡に指定される。

1937 昭和12

四月一日、若松市と町北村の一部が合併

七月三十一日、若松市庁舎が新築落成

日中戦争爆发

十月十一日～十三日、鶴ヶ城本丸跡などで戊辰戦役七十年祭



若松市庁舎



御葉園

1939 昭和14

九月、第二次世界大戦が始まる。

1941 昭和16

十二月八日、真珠湾攻撃。日本が米英と開戦。

1945 昭和20

八月十五日、終戦を迎える。

1946 昭和21

十二月、神明通りが開通。

1947 昭和22

二月、会津若松商工会議所が設立認可

九月、戊辰殉難者追悼八十年祭(阿弥陀寺、飯盛山)。飯盛山で奉納の白虎隊剣舞は昭和二十一年以降、二十八年まで休止する。



当時の神明通りの様子

1949 昭和24

五月、市制施行五十周年を祝う。

1950 昭和25

四月、旧城跡に県営会津競輪場が開設される。

【昭和期の歩み】

1951 昭和26
四月、町北村を合併

1952 昭和27
十月、第七回国民体育大会開催(柔道、軟式庭球)

1953 昭和28
十月、若松市初の統一祭「会津まつり」スタート。翌年、大名行列も登場

十二月、「若松市民の歌」を制定

1955 昭和30
一月二日、近隣の湊、二箕、高野、神指、門田、大戸、東山の七村を編入合併。「会津若松市」が誕生する

四月二日、大沼郡本郷町小谷地区を編入

1956 昭和31
三月、京都府会津藩墓地の改修が行われる

八月、東山温泉・背炙り山に空中ケーブル(ロープウェイ)が完成

1957 昭和32
九月二十二日、会津若松市主催の戊辰戦役九十年祭。飯盛山などで戊辰九十年殉難者墓前祭も
飯盛山に白虎隊ただ一人の生存者、飯沼貞吉翁の顕彰碑が建立される

1967 昭和42
九月二十二日、秩父宮妃殿下をお迎えし

明治戊辰百年祭記念式典。鶴ヶ城本丸で会津博覧会など多彩な記念行事

市の花にあおい(立ちあおい)を制定

1968 昭和43
五月、明治戊辰百年を記念し「市民憲章」を制定する

十月、上野―会津若松間に特急「あいづ」が運行する

1970 昭和45
三月、旧滝沢本陣が国の史跡に指定

七月県会津若松合同庁舎が完成

1971 昭和46
八月、只見線(会津若松―小出間)が全線開通

十月、国道49号線いわき―郡山―新潟間が全線開通

1972 昭和47
四月、会津若松地方広域市町村圏整備組合が発足

五月、大塚山古墳が国史跡に指定

1973 昭和48
三月、県営会津体育館(城東町)が落成

1978 昭和53
七月、中央通り開通式

十月、市文化福祉センター開館

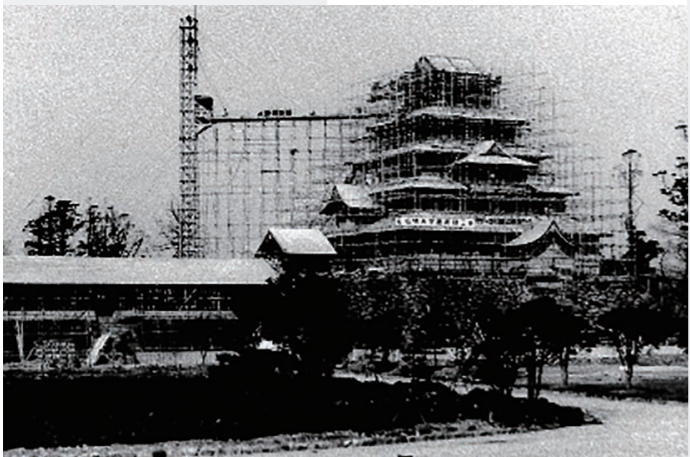
1979 昭和54
九月二十二日、市制施行八十周年記念式典。市の木に「アカマツ」を制定

1982 昭和57
二月、県営東山ダム完成

七月、市下水浄化工場通水記念式

1984 昭和59
九月二十二日、秩父宮妃殿下をお迎えし鶴ヶ城築城六〇〇年まつり記念式典

1965 昭和40
九月十七日、鶴ヶ城天守閣の再建工事が竣工。本格的な「観光会津」の新時代を迎える拠点施設



念願の鶴ヶ城天守閣再建工事

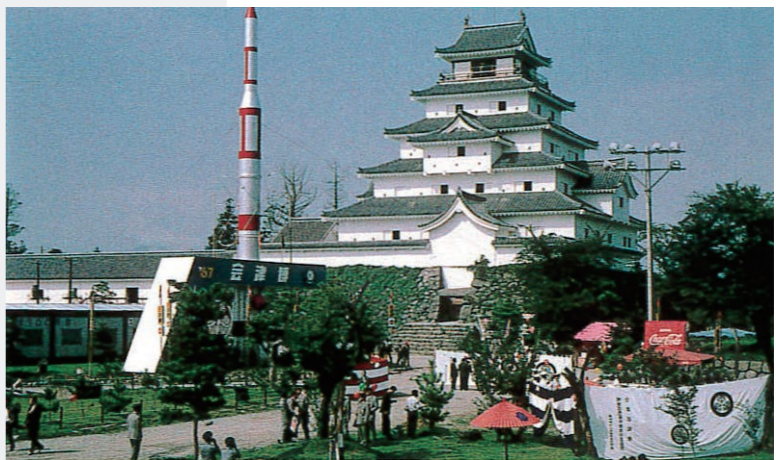
1963 昭和38
七月、会津はひとつ―会津二十八市町村による会津総合開発協議会が誕生

1961 昭和36
九月、第十六回国民体育大会水泳競技

1959 昭和34
十二月、市制六十周年記念式典
新しい市民会館、中央公民館が落成



各種催し物の中心施設として利用された市民会館



戊辰百年祭・会津博覧会



国の史跡に指定・旧滝沢本陣

【昭和／平成期の歩み】

1984
昭和59

青森県むつ市と姉妹都市を締結
市の鳥に「かつこう」を制定

1985
昭和60

八月六日、核兵器廃絶平和都市を宣言
九月二十二日、会津若松市合併三十周年記念式典

1986
昭和61

十月九日、会津鬼怒川線(野岩線)が開業
十月十八日、県立博物館が開館

年末に大型ドラマ「白虎隊」がテレビ放映される



松平家墓所が国の史跡に指定

1987
昭和62

五月、東山院内の松平家墓所(御廟)が国史跡に指定
七月、第三セクター会津線が会津鉄道の運営で開業
九月二十二日、会津若松市主催の戊辰戦役百二十年記念式典
十月、大川ダムが完工

1990
平成2

九月、茶室「麟閣」鶴ヶ城本丸に移築

1992
平成4

十月、磐越自動車道郡山―会津若松―坂下間が開通



茶室「麟閣」を鶴ヶ城本丸に移築

1993
平成5

四月、会津大学が開学。全国に例のないコンピュータ理工学部を持つ県立大学

1994
平成6

六月、會津風雅堂が開館

1995
平成7

四月、飯盛山の白虎隊靈域整備事業が完工(会津弔霊義会)
十月、第五十回国民体育大会。会津若松市では六人制バレーボールなど四競技を開催



会津大学が開学

1997
平成9

十月、磐越自動車道いわき―会津若松―新潟間が全線開通

会津大学に大学院が開設される

1999
平成11

十月十五日、会津若松市市制施行百周年を祝う

2000
平成12

十二月五日、史跡若松城跡に「干飯櫓」「南走長屋」が復元

2001
平成13

まちなか周遊バス「ハイカラさん」運行開始する

2002
平成14

あいづっこ宣言」制定



「干飯櫓」「南走長屋」が復元

2004
平成16

十二月二日、北会津村を編入合併

2005
平成17

十二月二日、河東町を編入合併

京都会津墓地の慰霊百周年を迎え、第二〇〇回記念法要。鳥羽伏見の戦死者などを永代供養。京都墓地の改修も行われる

2006
平成18

会津ナンバー誕生

2008
平成20

戊辰百四十周年記念事業を行う



会津ナンバー誕生

2011
平成23

三月十一日、東日本大震災で県内や郷土会津にも大きな被害。直後の原発事故で県内の約二十万人が避難。

2013
平成25

NHK大河ドラマ「八重の桜」放映

2015
平成27

鶴ヶ城天守閣再建五十周年を迎える

2018
平成30

戊辰一五〇周年を迎え、記念式典や記念事業を開催する



磐越自動車道開通の様子